

きぬた



2025年6月2日
社会福祉法人多摩福祉会 砧保育園
世田谷区祖師谷4-3-17
03-3483-1950



あめあめやんどくれ あしたのばんにふっとくれ

てるてるぼうず てるぼうず あしたてんきにしておくれ (わらべうた)

* 偶然性を楽しむ余白のある生活を *

先日、私と卒園児パート職員とで昨年度稲を育てていた箱の水を捨てていたところ、ヤゴが沢山見つかりました。虫好きの子たちがすぐに嗅ぎつけて、あっという間に周りを取り囲み、ただの水捨てが急遽「ヤゴ探し」タイムに！箱には苔も張っていたのですが、お構いなしでどこか探しているツワモノたち... (後で手を洗うように伝えました)。むしろ「苔の下に隠れてる！」と苔をどこか探していました。らいおんさんたちが平気でヤゴを捕まえているのを見て、「ぼくもつかまえたい！」とうさぎさん。こんなワンシーンでも憧れが育まれているのを感じます。卒園児パート職員は、生き物が大好きな元祖虫博士。子どもたちから「なんのトンボになるかな～」と聞かれ、「これは多分シオカラトンボだと思うな～。また図鑑とかで調べてみようか！」と頼りになるお兄さんです！自宅で育てる用に、ちゃっかり数匹持ち帰っていました～！

このエピソードのように、子どもたちの生きる世界には、自然との偶然の出会いが散りばめられています。私自身も、幼い頃は毎日のように公園で大きな石をひっくり返して虫との出会いを楽しんでいたことを思い出します。子どもたちは、不確定な未来にワクワクしたり、不安定な足場でバランスを取ることも「遊び」として楽しんでいます。日々「探検」をしているようなもので、思わぬ発見があることやチャレンジすることが、「おもしろくてしょうがない！」という感性を、本来持って生まれてきているのです。

ただ、現代社会は「効率性」「合理性」を土台とした「生産性」最優先社会になっているように感じます。私たち大人がそのような価値観の中で生きており、子どもたちにもついつい「早くして！」「なんでそんな(余計な)ことしたの！」という言葉に向けてしまうことが多いのではないのでしょうか。それは保護者の皆さんがいけないのではなく、それ程忙しく時間を切り詰めないといけないプレッシャーに追われている状況があるからであり、一生懸命がんばっていることの裏返しなのだと思います。自己嫌悪になってしまうのも、「子どもを大切にしたいのにできていない」という、愛情からくる苦しさですね。失敗すると責任を問われ、うまくできないとがんばりがたりないと「自己責任」にされてしまう社会が、子どもへのあたたかいまなざしや、のびのび自分らしく生きることの余白を奪っているような気がしてなりません。

保育にもPDCAサイクルが持ち込まれていますが、子どもの育ちに当てはめた時に、大人が「こう育ってほしい」が大きくなり、子ども自身の「こう育ちたい！」が小さくなってしまわないのでしょうか。子どもたちが偶然の出会いにワクワクするように、大人も子どもの失敗や予想を超える姿をおもしろがれるような、余白のある社会にしたいですね。

<6月の予定>※状況により変更あり。

- 2日(月) プール開き
- 5日(木) モグモグ離乳食
- 6日(金) 造形
- 11日(水) 歯科検診
- 12日(木) 0歳児健診 赤ちゃん広場
にじのおうち懇談会
- 14日(土) きぬた祭り 卒園児の集い
園をきれいにする会
- 17日(火) 1.2歳児面談(～7/12)
- 18日(水) お泊り懇談会(らいおん)
- 19日(木) わらべうた(乳児)
- 20日(金) 造形
- 24日(火) 誕生会
- 25日(水) 異文化交流
- 26日(木) 避難訓練 園庭遊び(水遊び)

地域の子どもたち・保護者と育ちあう

砧保育園では、「きぬたん」として様々な地域活動を行っています。園庭あそび、赤ちゃん広場、わらべうた体験、モグモグ離乳食等です。保育園に入っていないご家庭にも、子どもたちが豊かに育つための環境を体験していただき、子育てで孤立せずに親子で少しほっとできる時間となればと毎年思考を凝らしています。

先日も園庭あそびに複数のご家庭がいらっしやり、砂場で泥んこになって遊んだり、在園児と一緒に散歩に出かけたり。家庭だけでは体験しきれないことも、保育園では日常です。その中で、「〇〇ちゃん来てくれて嬉しい!」と手をつないであげたり、「ご飯できたよ!」と給食に誘ってあげたりと、保育園の先輩(?)としてお世話してあげることが嬉しくもあり、どこか誇らし気な姿も見られました～!

これからも親子で一緒に豊かな時間を過ごすことの支援を続けていきたいです。

<7月の予定>※状況により変更あり。

- 3日(木) 赤ちゃん広場
- 4～5日(金～土) お泊り保育(らいおん)
- 16日(水) 避難訓練 誕生会
- 17日(木) 園庭遊び(水遊び)
- 24日(木) 親子クッキング



お迎え時見守りボランティア大募集!!

以前より、「お迎え後に子どもだけで外門から出て行ってしまうことがあり心配」という不安が出されていました。そのため、門や鍵の取り換えを含めて検討してきましたが、園の構造上なかなか実質的な改善となるようなものが見つかっていない状況です。そこで、地域の方のお力をお借りできればと考えました。

まずは、在園児・卒園児家庭の祖父母の方やお知り合いの方にお願いできれば安心かと思っています。時間は17:30～18:30のお迎えピーク時間帯となります。毎日でなくても結構です。最終的に複数名の方で毎日となればと考えています。埋まらない場合は、地域の方にお声かけすることも想定しています。

安全対策はもちろんですが、子どもたちと地域の高齢者の方々がつながり、お休みの日に会った時にも挨拶したり、卒園してからも地域の中で交流が続けばいいな～とイメージしています。また、高齢者の方々にとっても子どもたちと触れあう機会があることで生きがいにもなるのではないのでしょうか。リタイア後の居場所の一つとなれば嬉しいです。

あたたかいまなざしに見守られ、安心して暮らしていけるまちづくりの一環として実現できればと考えていますので、是非祖父母の方やお知り合いの方への働きかけにご協力ください! やってもいいよ～という方がいらっしやれば、事務室にお声かけください。よろしく願いいたします!!